

6 社会調査ゼミ

平成 30 年度の新たな取り組みとして「社会調査ゼミ」を実施した。これは、研究所内での研究員による勉強会である。これまで研究所では、無作為抽出標本調査やインタビュー調査を行ってきたが、区職員の研究員については必ずしも専門知識を十分に学ぶ機会がないこと、人事異動に伴い研究所としての蓄積を継承することが困難であることが課題となっている。また、社会調査の技術を身につけるだけでなく、社会科学の基本的な方法論を理解することが、調査設計から論文執筆までの調査研究の一連の過程にとって重要である。そこで、社会学を専攻する特別研究員が講師役となり、社会調査の基本的な考え方や注意点などを講義し、それをもとにディスカッションを行った。（講義資料は、次頁以降に掲載。）

まずは研究員のスキルアップを図り、研究所の実施する調査研究のレベルアップにつなげることを目指している。それだけでなく、庁内における各種調査の精度や信頼性の向上も課題であると認識しており、その改善に資する取り組みを考えていきたい。

講師：金澤良太 特別研究員

実施日時・内容：

開催日	テーマ
12/6	社会調査とは何か
12/19	社会調査の基本的発想、変数の分類
1/24	社会調査の発想（その2）：量的調査と質的調査
1/31	仮説検証の論理
2/13	社会調査に騙されない／社会調査で騙さない
2/26	質的調査の方法

2018年12月6日

社会調査ゼミ

ゼミの計画

1. 社会調査とは何か
2. 社会調査の基本的発想: 変数, 仮説, 理論と実証
3. 社会調査のプロセス: 量的調査と事例調査
4. 調査票の作り方(1)
5. 調査票の作り方(2)
6. サンプルと統計的検定の考え方
7. データ分析のための準備
8. 社会調査が抱える困難

1. 社会調査とは何か



調査 (research) とは

- Cambridge English Dictionaryによれば
- a detailed study of a subject, especially in order to discover (new) information or reach a (new) understanding
- 主題についての詳細な研究. 特に(新しい)情報を発見するため, もしくは(新しい)理解に到達するためのもの

世の中の様々な〇〇調査

- 統計調査
- 世論調査
- 市場調査
- 信用調査
- 税務調査
- 地質調査
- etc.

様々な調査のイメージ

- 調査票を配布・収集する
- インタビューをする
- 観察する
- 尾行する
- 録音・撮影する
- 図書館などで資料を収集する etc.

社会調査の定義①

- 福武直 (1954) の定義
- 社会事象を人間の社会的・生活関連における意味に即して調査すれば, それがどのような目的をもち, またいかなる主体によって行われようとも, すべて社会調査と呼んでよいわけである.

社会調査の定義②

- 森岡清志 (2007) の定義
- 社会調査は①社会事象を対象とし, ②現地調査でデータを直接収集し, ③そのデータを処理, 分析, 記述する, ①~③の全作業過程と定義することができる.

社会調査の定義③

- 木下栄二(2013)の定義
- 社会的な問題意識に基づいてデータを収集し、収集したデータを使って、社会について考え、その結果を公表する一連の過程

社会調査の定義④

- 何れの場合も作業内容によって社会調査を定義しており、その意味では正しい定義になっている。
- 社会について調べていれば社会調査という考え方
➢しかし統計調査や世論調査も社会について調べている



統計調査とは

- この法律において「統計調査」とは、行政機関等が統計の作成を目的として個人又は法人その他の団体に対し事実の報告を求めることにより行う調査をいう。(統計法第2条5項)
- 国の基幹統計だけでも56種類ある。(H28年10月31日現在)
➢国民経済計算、産業連関表、人口推計などは、他の統計を加工することによって作成される(加工統計と呼ばれる)。

平成27年国勢調査の調査項目

世帯員に関する事項

- (1) 氏名
- (2) 男女の別
- (3) 出生の年月
- (4) 世帯主との続柄
- (5) 配偶の関係
- (6) 国籍
- (7) 現住居での居住期間
- (8) 5年前の住居の所在地
- (9) 就業状態
- (10) 所属の事業所の名称及び事業の種類

- (11) 仕事の種類
- (12) 従業上の地位
- (13) 従業地又は通学地

世帯に関する事項

- (1) 世帯の種類
- (2) 世帯員の数
- (3) 住居の種類
- (4) 住宅の建て方

世論調査とは

- 世論調査は人々の意識・意見・価値観を調査することを主な目的とする。
- 代表的な世論調査として、内閣府がおこなう「国民生活に関する世論調査」や「社会意識に関する世論調査」、NHK放送文化研究所がおこなう「日本人の意識調査」がある。

平成30年度国民生活に関する世論調査

- 調査目的
➢現在の生活や今後の生活についての意識、家族・家庭についての意識など、国民の生活に関する意識や要望を種々の観点でとらえ、広く行政一般の基礎資料とする。
- 調査項目
➢現在の生活について、今後の生活について、生き方・考え方について、政府に対する要望について、フェイス・シート(=個人属性)

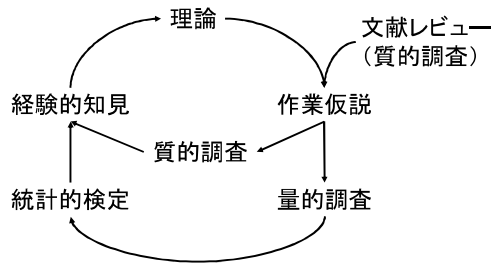
統計調査・世論調査と社会調査との異同

- 作業内容によって区別できるか？
➢調査の作業自体はどれもほぼ同じ
- 調査項目によって区別できるか？
➢統計調査は意識を調査しないが、それによって区別できるわけではない
- 調査主体によって区別できるか？
➢統計調査は行政に限定されるが、世論調査や社会調査は行政を含めどのような主体でも実施できる

社会調査の目的

- これまでに紹介した社会調査の定義は、目的が欠けていたり、目的を問わないとしている。
- 目的を特定化しなければ、社会調査には統計調査や世論調査も含まれることになる。(実際は、それでよいという考えが大半である)
- 本来、社会調査は社会理論の発展を目的におこなわれるものである。

社会科学の研究サイクル



学問的営みとしての社会調査と実験

- 社会調査は、自然科学(のほとんど)における実験と同じ位置づけにある。
- 仮説の検証なしの実験はありえない。
- それと同様に、仮説の検証なしの調査はありえない。
- ただし、社会調査で新事実の発見がないわけではない。

社会調査における「発見」

- 社会科学は、(例えば歴史学や文学の様に)新資料の発掘によって全く新しい見解が提示されるというタイプの学問ではない。
 ➢ 社会科学は調査による仮説の検証によって知見が蓄積されることが重要
- 社会調査で新事実の発見があるとすれば、それは既知の諸事実の間の新たな関連である場合がほとんどである。

まとめ

- 社会調査は統計調査や世論調査と区別される。
- 社会調査は社会を対象とし、社会科学の理論の発展を目的とした調査である。
- 社会科学における社会調査は、自然科学における実験に相当する。

文献

- 福武直, 1954「社会調査の意義と方法」福武直編『社会調査の方法』有斐閣。
- 森岡清志, 2007「どのような社会調査をしたいのか」森岡清志編『ガイドブック社会調査 第2版』日本評論社。
- 木下栄二, 2013「」大谷信介ほか編『新・社会調査へのアプローチ: 論理と方法』ミネルヴァ書房。

社会調査ゼミ

社会調査の基本的発想

前回のゼミから

- 社会科学における社会調査は、自然科学における実験に相当する。
- 社会科学は、理論から導き出される仮説を、社会調査によって得たデータの分析により検証することで、科学的な知見を提出することが出来る。

理論とは

- Cambridge English Dictionaryによると
 - a formal statement of the rules on which a subject of study is based or of ideas that are suggested to explain a fact or event or, more generally, an opinion or explanation
- 要するに、事実や出来事を説明するような、規則に関する言明

社会調査における理論と仮説

理論

- 社会現象に関するいくつかの概念が関係しあっていることを仮定した複数の命題の集合

仮説

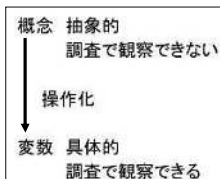
- 理論命題の抽象的な概念を観察可能な具体的な対応物を用いて言い直した言明

変数variable

- 抽象的な概念を観察可能な対応物に置き換えたものを変数とよぶ
- 変数は対象によって異なる性質
 - ex. 性別, 年齢, 学歴
- 定数は対象による違いがない性質
 - ex. 人間

操作化operationalization

- 理論命題を仮説にすること、すなわち理論命題に含まれる概念を変数に置き換えることを操作化と呼ぶ



操作化の原点

- エミール・デュルケム (1858-1917)
- 『社会分業論』(1893年)
- 「われわれが直接捉えることのできない内面的事実を、それを象徴している外面的事実で置き換え、そして後者を通じて前者を研究することが必要である」
- 『社会学的方法の基準』(1895年)
- 「社会的諸事実を物のように考察する」

デュルケムの『自殺論』(1897年)

- 自殺の原因は個人ではなく集団の特質にあると主張
 - 集団の統合度によって自殺の発生率に差がある
- 「集団の統合度」を宗派の違いによって表現した。
 - プロテスタントは集団の統合度が低く、自殺が発生しやすい。カトリックは集団の統合度が高く、自殺が発生しにくい。

例：経済と政治の理論

- 理論命題1: 経済的不安定によって、国家の政治体制に対する不満が生じる。
- 理論命題2: 国家の政治体制に対する不満によって、反体制の政治的勢力が強くなる。
↓
- 理論命題3: 経済的不安定によって、反体制の政治的勢力が強くなる。

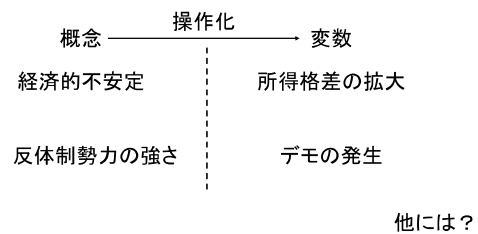
※複数の命題から新しい命題を導くことが出来る。(演繹)

参考: ボーンシュテット & ノーキ, 1992『社会統計学』ハーベスト社。

理論を仮説にする

- 理論命題: 経済的不安定によって、反体制の政治的勢力が強くなる。
- 「経済的不安定」、「反体制勢力の強さ」という概念をどのように操作化するか?

操作化の例



ここまでのまとめ

- ロバート・K・マートン(1910-2003)
- 「社会理論の経験的調査に対する意義」『社会理論と社会構造』(1949年)
- 「諸概念を羅列しただけでは(中略)理論を構成するものではない。(中略)これらの概念が1つの図式の形で互いに関連させられた時に、はじめて1つの理論が出てくるのである。だとすれば、概念というものは観察するべき事柄を限定する(規定する)ものであり、変数であって、この変数間の経験的關係こそ探求しなければならないものなのである。いろんな命題が論理的に互いに関連させられてはじめて、1つの理論がたてられる。」

変数の分類

尺度による分類

- 変数(性別, 年齢, 学歴, 年収...)は何らかの基準によって人を区別している。
- 区別の基準となる物差しを尺度という。
- 変数の尺度には名義尺度, 順序尺度, 間隔尺度, 比率尺度がある(スタンレー・スミス・スティーブンス, 1946年 “On the Theory of Scales of Measurement” *Science* vol.103 pp.677-680)。

名義尺度(nominal scale)

- 相互に排他的なカテゴリーに区別するのみの尺度
- 数値は名目的なもので、数量としての意味はない
- 例: 性別、学部・学科、出身地、国籍

問5 現在のお住まいは次のどれにあたりますか。あてはまる番号に**ひとつだけ**○をつけてください。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 一戸建て持ち家 | 2. 一戸建て借家 | 3. 分譲マンション |
| 4. 賃貸マンション | 5. 都営・区営住宅 | 6. 社宅・官舎・寮 |
| 7. アパート | 8. その他 () | |

出典：せたがや自治政策研究所「地域の生活課題と住民力に関する調査'09」

順序尺度 (ordinal scale)

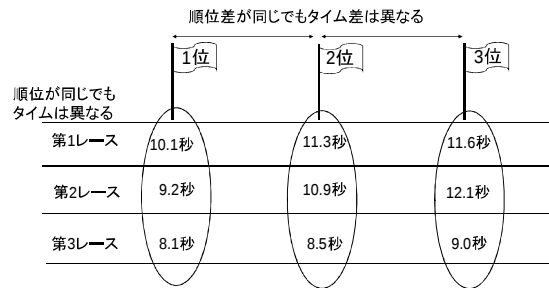
- 数値の序列に意味はあるが、数値の間隔の量的距離が一定ではない尺度
➤ 徒競走の順位のようなイメージ
- 数値は相対的な位置関係を示す。
- 意識を測定する質問でよく使われる。

Q18 あなたは以下の意見についてどう思いますか。

- | | | | | | |
|------------------------------|-------------|-----------|---------------|-------------|-----------------|
| | よく
あてはまる | あて
はまる | どちらとも
いえない | あて
はまらない | まったく
あてはまらない |
| A 近所の人は、
お互いに気にかけている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| B 近所の人は、私が困っていたら
手助けしてくれる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

出典：JGSS2018・留置調査票

順序尺度としての徒競走の順位



間隔尺度 (interval scale)

- 数値の間隔には量的意味があるが、絶対的ゼロ点が存在しない尺度
 - 数値の大小関係だけでなく、差が分かる
 - 例：気温
 - 30℃は20℃より10℃高いといえるが、1.5倍暑いとはいえない。
- ※間隔尺度は、社会科学ではほぼ考慮しなくて良い

比率尺度 (ratio scale)

- 数値の間隔に量的意味があり、かつ絶対的ゼロ点を持った尺度
- 0が何もないことを表す
- 数値の差だけでなく、倍数関係が分かる
- 例：労働時間
- 1週間の労働時間が30時間の人は、20時間の人より10時間長く働いているということだけでなく、前者は後者の1.5倍の時間働いているといえる。

問38 あなたは通常、1週間に何時間くらいお仕事をしますか。残業や副業も含めた時間をお答えください（お仕事をしていない方は0とご記入ください）。

 時間

出典：せたがや自治政策研究所「家族・結婚・ライフスタイルに関する調査」

比率尺度としての徒競走のタイム



- 名義尺度→区別
- 順序尺度→区別＋序列
- 間隔尺度→区別＋序列＋差の大きさ
- 比率尺度→区別＋序列＋差の大きさ＋倍数関係

質的な変数と量的な変数

- 質的な変数
 - 質的な特性を表す
 - 値に数量的な意味はない
- 量的な変数
 - 数量的な特性を表す
 - 値に数量的な意味がある
- 量的変数は質的な変数に変換できる.

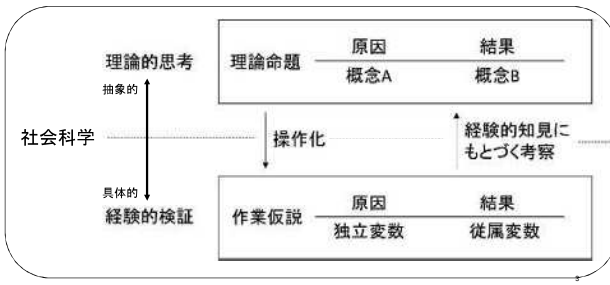
質・量の区別と尺度の対応関係

- 質的な変数
 - 名義尺度
 - 順序尺度
- 量的変数
 - 間隔尺度
 - 比率尺度

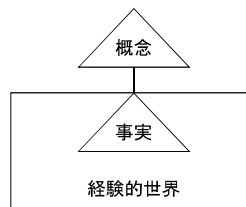
社会調査ゼミ

社会調査の発想(その2): 量的調査と質的調査

これまでのゼミから:社会科学における理論と実証



概念と経験的世界



- 「我々が普通『事実(fact)』と呼ぶものは、実は『概念(concept)』によって経験的世界(empirical world)から切り取られた、現実の一部にほかならない」
- 「“概念”がなければ“事実”もない」
- (高根正昭, 1979年, 『創造の方法学』)

概念と経験的世界

- 経験的世界には、事実として認識されない領域が残されている。
➢ 「残余カテゴリー(residual category)」
- 「『概念』と『経験的世界』の間には不断の相互作用が存在している。『概念』は人間自身の思考によって修正される。それだけではなく概念は経験的世界の、人間への働きかけによっても修正される」(高根正昭, 1979年, 『創造の方法学』)
- 概念を通して経験的世界の一部を切り取るという事実の把握の仕方は、われわれが日常的におこなっている。

社会科学と経験的世界

- 経験的世界は高度に複雑であり、そのままでは研究することが出来ない。
- 社会科学は経験的世界の特定の側面への注目を促し、それを研究可能な対象(社会、経済、政治...)にする
- 上記のことは、各々の社会科学の一般の方針(としての理論)によって可能になる
➢ 社会科学は「社会の見方」や「視点」だというのがしばしば言われるが、それは一般の方針のことを指していると言える。

社会科学と経験的世界(続き)

- 社会科学は、一般の方針のもとに経験的世界を観察するべく、様々な概念を開発する。
➢ 社会科学は概念を通して経験的世界(のある側面のいくつかの部分)を観察する。
- 社会科学は科学である以上、一般の方針だけでなく、社会現象の法則としての理論を探索する。
➢ このような理論は、概念間の論理的関係の総体として観念される。

概念と変数

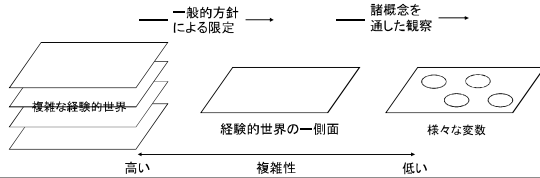
- 社会科学において概念が切り取る事実は、ほとんどが変数である。
➢ 社会科学における理論は変数間の関係でもある
- 理論は社会現象の法則に関する命題(の集合)であり、格言ではない。

✕ 人間は考える草である

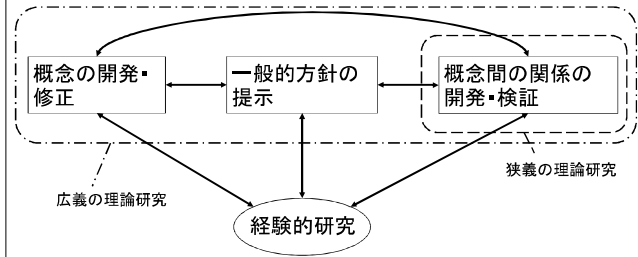
○ 教育程度の高い人ほどマイノリティに寛容である

社会調査と現実社会

- 社会調査は、社会科学の一般の方針のもとに開発された諸概念を通して、社会を観察している。
- 単純化すると下図のようになる。



社会科学における理論研究



理論研究と経験的研究の対応関係

- 理論研究のタイプと経験的研究のタイプとの間には、(緩やかな)対応関係がある。
- 量的調査を用いた経験的研究は、主に「概念間の関係の検証」に適している。
- 質的調査を用いた経験的研究は、主に「概念の開発」や「概念間の関係の開発・検証」に適している。

質的調査と量的調査

量的調査と質的調査

- 一般的には、以下のように定義される
- 量的調査
 - 対象を数量で把握しようとする調査のことを指す
 - 統計的なデータの処理・分析のために大量のサンプル(ないし母集団全体)を対象とする
- 質的調査
 - 対象を記述的に把握しようとする調査のことを指す。
 - 記述的なデータの処理・分析のために少数の事例を対象とする。

データ処理が統計的・記述的とは？

- 量的調査は標本(サンプル)ないし母集団における変数の値の分布を調査する。
 - 「回答者の43パーセントが男性」、「平均年齢は36.5歳」、「未婚者が約70%を占める」
- 質的調査は個々の事例における変数の連関を調査する。
 - 「Aさんは40代の男性で、現在未婚である」

主な調査手法

量的調査 — • 調査票調査

質的調査 — • 聞き取り調査
• ドキュメント分析
• 参与観察、観察
• ビジュアル調査

量的調査と質的調査の性質の違い

- 質問が構造化されているか否か
- 調査前に変数(と変数間の関係)を絞り込むか否か
- 調査結果が確率論的に意味があるか否か

構造化されているか否か

- 量的調査のほとんどは調査票調査であり、その結果を数量的に把握するためには、すべての対象者に同じ質問文を提示しなければならない。（＝構造化されていない）
- 質的調査は構造化する意味がない。
- 例外：テキストマイニング、計量テキスト分析
 - 調査票を用いない量的調査

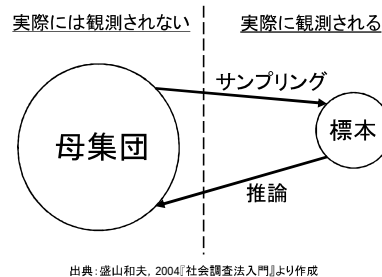
事前に変数を絞り込むか否か

- 量的調査は調査前に観測する変数を確定していなければならない。
 - 調査票の分量には限界がある
 - 量的調査は必然的に仮説検証型になる
- 量的調査は分析に必要な変数を調査前に確定する。
- 質的調査は調査後に変数を取捨選択して分析する。
- 例外：AIによるビッグデータの分析

調査結果が確率論的に意味があるかどうか

- 量的調査は調査結果に確率論的な意味があるように調査設計をする。
 - ランダムサンプリング
- 質的調査の場合は、どれだけ多くの事例を集めたとしても調査結果に確率論的な意味はない。
- 例外：ビッグデータ

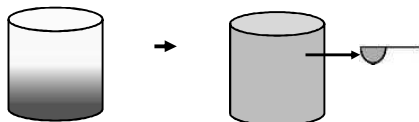
※サンプリングの考え方



部分から全体を知ることはできるのか？①

- みそ汁の味見

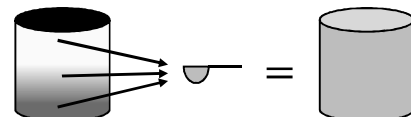
上部は味が薄く、
下部は味が濃い 混ぜると味が均等になる



21

部分から全体を知ることはできるのか？②

- 混ぜた後のみそ汁の味は、分離しているみそ汁の全体から偏り無くサンプルを抽出した時の味と等しい。



22

無作為抽出 (random sampling)

- 母集団に含まれるすべての個体について、それが標本に選ばれる確率が等しくなるように設計された抽出法
- 確率抽出とも呼ばれる。
- ◆ 抽出される確率が等しいので、統計学の確率論を用いて母集団の特性を推論できる。
 - ただし、誤差は生じる。

23

標本誤差 (sampling error)

- 無作為抽出による標本データからの推定値と母集団の値とのずれのこと。

※サンプリングの誤りではない！！

24

量的調査と質的調査との違いに関する誤解

- 量的調査は仮説検証を目的とし、質的調査は仮説の構築に役立つということがしばしば言われる。
 - 誤りではないが、この限りではない。
- 量的研究も質的研究も実験的研究も発想は共通している。
 - 原因となる変数と結果をあらわす変数との関係を検証している。

社会調査ゼミ

仮説検証の論理

仮説の検証とは

- 仮説とは、平たく言えば独立変数と従属変数との因果関係のことである。
- したがって、仮説の検証とは、実験や調査・分析を通じて因果関係を明らかにしようとする作業のことである。
- 因果関係を明らかにするための条件は、どの方法においても共通する。

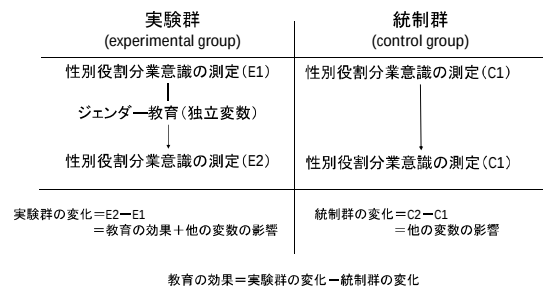
因果関係を明らかにするための条件

- ① 独立変数の変化が従属変数の変化に先行する。
- ② 独立変数と従属変数の間に共変関係がある。
- ③ 従属変数に影響を与える他の重要な変数が統制(=コントロール)されるか、変化しないと仮定されなければならない。

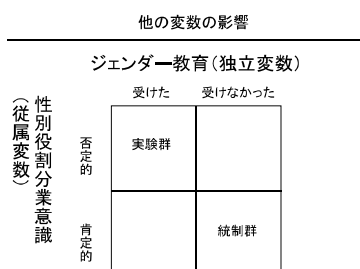
実験法の場合

- 独立変数は刺激、従属変数は刺激に対する反応であるから、「①変数間の時間的な順序」、「②変数間の共変関係」を特定しやすい。
- 刺激をあたえる前に、「③他の重要な変数の統制」をすることが可能。
 - 実験法では、2つの等質な集団を作る。
 - 被験者を2つの集団に分ける際に、無作為化する方法、特定の変数(教育水準、知能、性別、年齢、職業など)を考慮して人為的に等質な集団をつくる方法、これら2つの方法を組み合わせた方法がある。
 - そのうち一方の集団のみに、刺激を与える(=独立変数の影響下に置く)。

例: ジェンダー教育の効果測定



例: ジェンダー教育と性別役割分業意識との関係



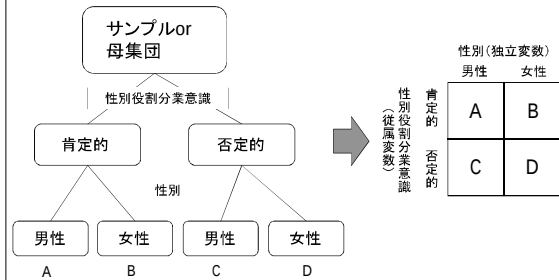
実験法の限界

- テーマによっては倫理的な問題を生じる可能性がある。
 - ex. 離婚の原因、非行の原因...
- 対象は小集団に限定される。
 - 集団の規模が大きいと変数の統制が難しい
- 操作可能な現在の状況でしか研究できない。

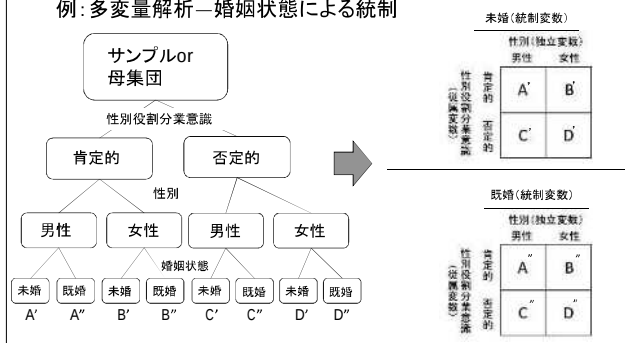
計量的研究の場合

- 「①変数間の時間的順序」は論理的に確定されたり、質問文によって確定される。
 - 生得的な特質を表す変数は、他の変数よりも時間的に先行する。
 - 「〇〇歳のころ～」といったような回顧的質問を用いて時期を特定する。
 - パネル調査—同じ調査対象を継続的に追跡する調査
- 「②変数間の共変関係」は2変量解析を通して見出す。
- 「③他の重要な変数の統制」は多変量解析によっておこなう。

例:2変量解析—性別と性別役割分業意識



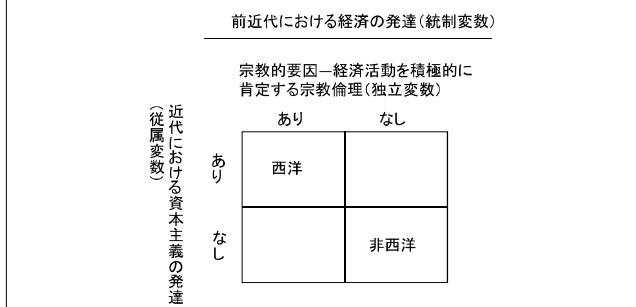
例:多変量解析—婚姻状態による統制



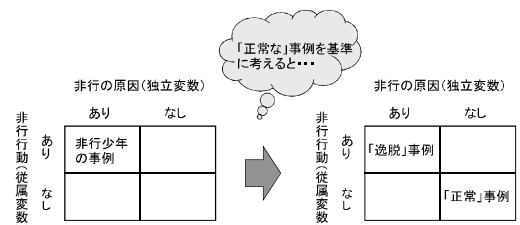
事例研究の場合

- 事例研究においても、実験法や計量的研究と同様に、科学的な仮説検証の論理を適用するという伝統がある。
- 因果関係を特定するための①～③の条件は、様々な意味での比較研究によって可能になる。

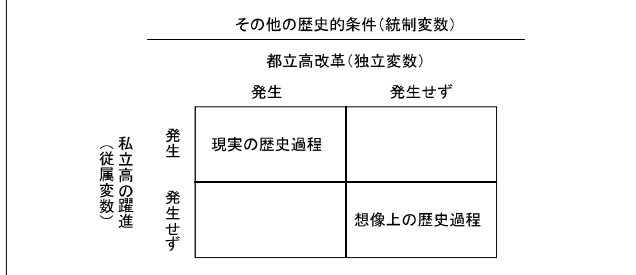
例:M.ウェーバーの比較経済史研究(比較例証法)



例:非行少年の研究(逸脱事例)



例:都立高改革の帰結(思考実験)



事例研究における仮説検証

- 事例の選択は研究者の思い付きではない
 - 因果関係についての推論を事例の比較によって実証しようとする
- 事例は、研究者が説明にもっともふさわしいと判断したものが選ばれる
 - したがって、計量的研究のように、確率論的な意味はない
 - 反論は、もっとも都合のわるい事例の提出という形をとることが多い

実験法・計量的研究・事例研究の違い

- 実験は、状況を人為的に統制して因果関係を特定しようとする。
- 計量的研究では、統計学的な操作によって変数群を統制し、因果関係の推測をしようとする。
- 事例研究では、変数の統制を考慮した適切な事例の選択・分析によって、因果関係を例証しようとする。

まとめ

- 研究者が状況を操作できるのは実験法のみ
- 計量的研究と事例研究における変数の統制は、実験法における状況操作の代替である
- いずれの方法においても、独立変数の従属変数に対する先行、独立変数と従属変数の共変、その他の重要な変数の統制という条件が満たされてはじめて仮説の検証は可能になる

ディスカッション

- それぞれの方法が、自分の研究テーマに適切かどうかを考えよう
- なぜ計量的分析で意識や価値観を分析することが困難であるのか考えよう
- 仮説検証的な事例研究の具体例を考えてみよう
- パネル調査の意義を考えよう

参考文献

- 高根正昭, 1979『創造の方法学』講談社現代新書.

2019年2月13日

社会調査ゼミ

社会調査に騙されない／社会調査で騙さない

社会調査における様々なごまかし

- 社会調査では、質問文による回答の誘導や、データ公表時の印象操作がされがちである。
- 調査者は、社会調査の様々な局面でごまかしをしないように、十分注意しなければならない。

データ公表における印象操作

- 言葉による印象操作
- 視覚的効果による印象操作
- 両者の組み合わせによる印象操作

言葉による印象操作

56%が賛成したとき

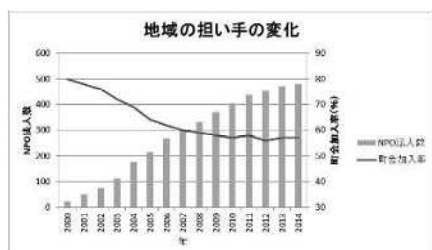
- 「約6割が賛成」
 - 「過半数が賛成」
 - 「4割以上が反対」
- 表現によって印象は異なる。

視覚的効果による印象操作

- 写真・イラストの利用
- 不適切なグラフ

→きちんとデータを検討しなければ、印象に引きずられて解釈を誤る。

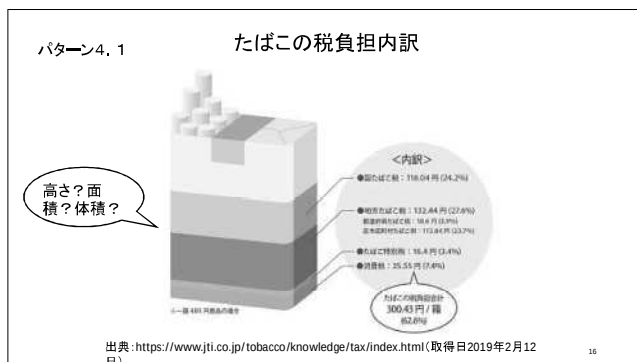
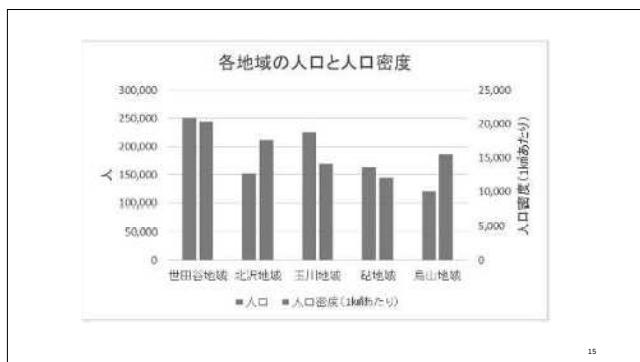
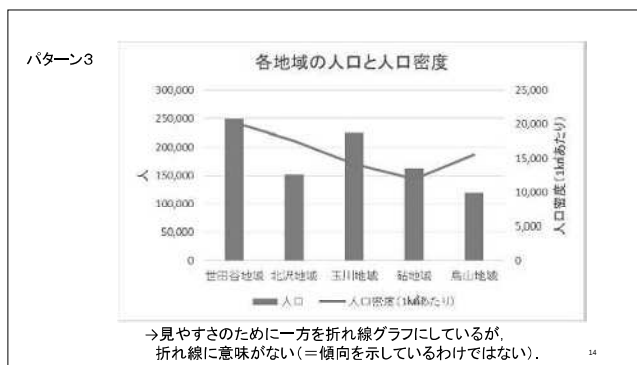
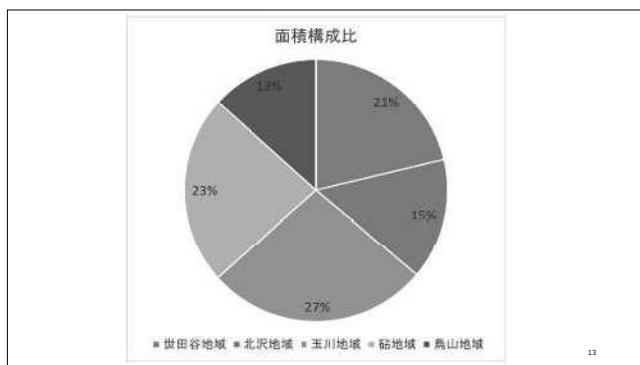
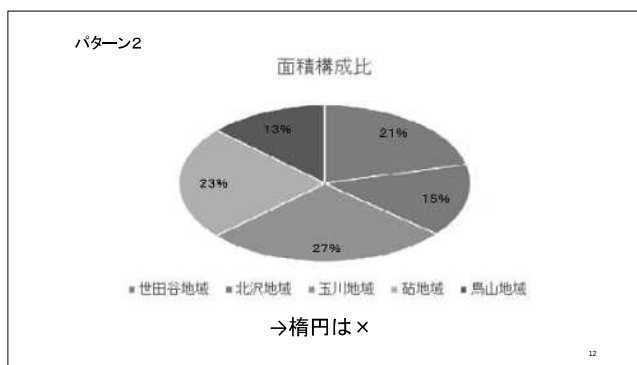
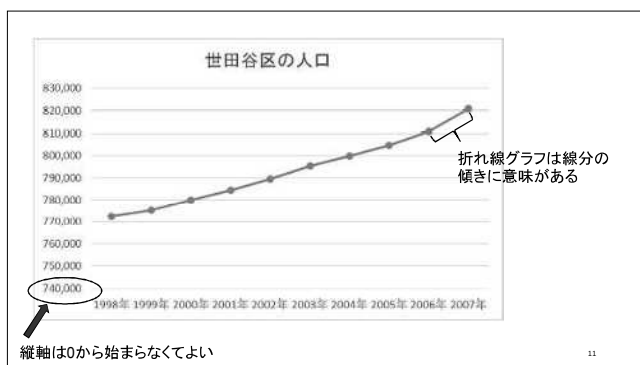
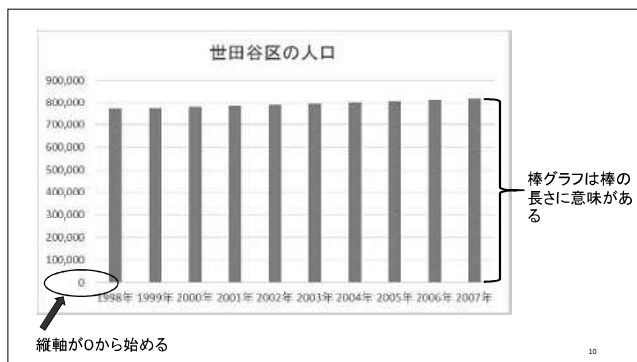
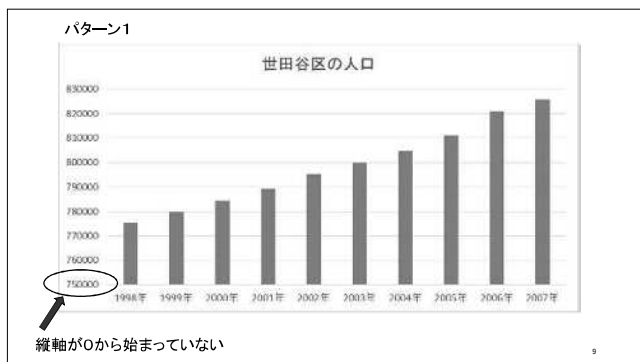
ディスカッション

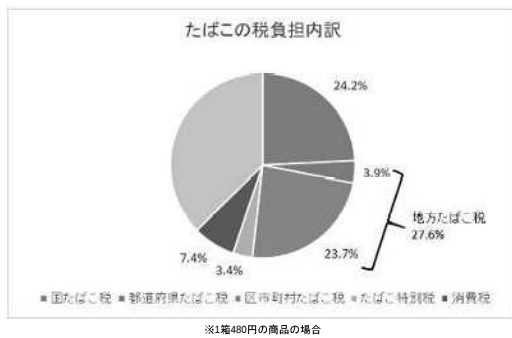


上のグラフはどのような印象操作をしようとしているだろうか？

わかりづらいグラフ

- ごまかすような意図がないとしても、分かりづらいグラフは見る人に誤解を生じやすい
- 次に示すいくつかのグラフの問題点を考えよう



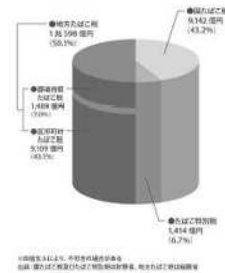


17

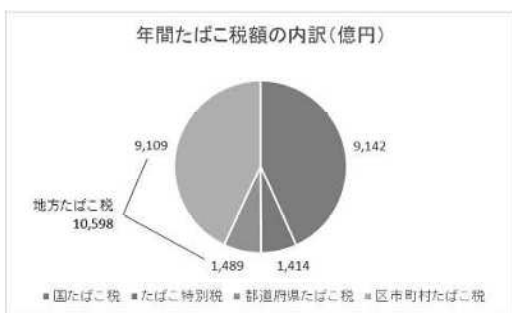
年間たばこ税額の内訳(2016年度)

パターン4. 2

高さは何を
意味している？



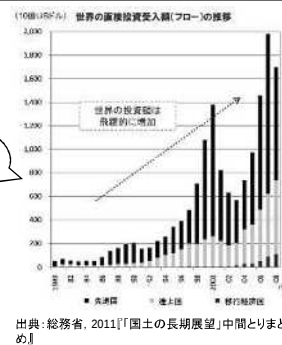
18



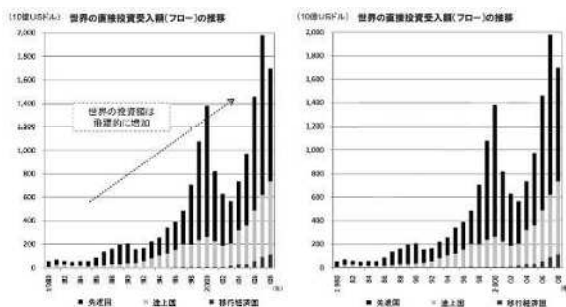
19

パターン5

矢印と説明
が余計



20



21

調査票作成の原則

- 調査者の恣意や無知に由来する回答の誘導(データのバイアス)は避けなければならない
- 質問は誰もが同じ意味に理解できなければならない
- 選択肢は相互排他的かつ網羅的でなければならない

誘導的な質問

- 質問文・選択肢の言葉遣い(ワーディング)によって回答は誘導されてしまう。
- 場合によっては、特定の選択肢を半ば強制するような質問もある。

半ば強制的な選択肢

問 2010年から現在までの間に在任した内閣総理大臣のうち、あなたは誰をもっとも支持しますか。あてはまる選択肢をひとつ選んで○をつけてください。

1. 鳩山由紀夫
2. 菅直人
3. 野田佳彦
4. 安倍晋三

自民党支持者が集中する

選びやすい選択肢

- ・ 中間選択肢(どちらともいえない等)は選びやすい。
- ・ そのほかにも、回答者が選びやすい言葉遣いの選択肢は数多く存在する。

選びやすい選択肢

問 あなたは消費税率が 8%から 10%に引き上げられることに賛成ですか。それとも反対ですか。

1. 賛成
2. やむをえない
3. どちらかといえば反対
4. 反対

本来なら「どちらかといえば賛成」にすべき

選びやすい選択肢

問 あなたは現在お住まいの地域にどれくらい満足していますか。

1. 満足
2. まあ満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

中間的な人も選択しやすい

質問文による誘導

- ・ 一般的に、説明の長い質問は誘導的になっていないか注意する必要がある。

【威光暗示効果】

- ・ 質問文で権威のある意見や一般的な意見を紹介し、回答を誘導しようとするもの

質問文による誘導

【ポジティブな内容、ネガティブな内容】

- ・ 一般的に言って、ポジティブな内容に対して否定的な回答／ネガティブな内容に対して肯定的な回答をしづらい
- ・ 調査目的によっては許されたり、適当な言い換えができないためにやむをえない場合も多い

男女共同参画の推進

区では、第二次男女共同参画プランを平成29年3月に策定しました。プランでは、「あらゆる分野における女性活躍推進」、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の着実な推進」、「女性に対する暴力の根絶」、「すべての人が尊厳をもって生きることができる社会の構築」という4つの目標を掲げ、男女共同参画社会の実現に向けて様々な施策に取り組んでいます。

〈全員の方向〉

問33 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方に共感しますか。(○は1つ)

1 そう思う	30	3 どちらかといえばそう思わない	25.0
2 どちらかといえばそう思う	19.6	4 そう思わない	51.0

〈無回答〉 1.4

出典：平成30年度 世田谷区民意調査

質問の順番による誘導

【キャリアオーバー効果】

- ・ ある質問が後の質問に影響を与える
- ・ 個々の質問だけでなく、調査票全体への注意が必要

問 勤労統計の問題についてうかがいます。厚生労働省の毎月の勤労統計の調査方法に不正があり、のべ2千万人以上の雇用保険などが少なく支給されていました。あなたは、勤労統計が不正に調査されていたことは、大きな問題だと思いますか。それほどでもないと思いますか。

1. 大きな問題だ (82%)
2. それほどでもない (13%)
3. その他・答えない (5%)

出典：朝日新聞世論調査(2019年1月19,20日実施)を調査票形式に修正

問 勤労統計の問題についてうかがいます。厚生労働省の毎月の勤労統計の調査方法に不正があり、のべ2千万人以上の雇用保険などが少なく支給されていました。あなたは、勤労統計が不正に調査されていたことは、大きな問題だと思いますか、それほどでもないと思いますか。

1. 大きな問題だ (82%)
2. それほどでもない (13%)
3. その他・答えない (5%)

問 勤労統計が不正に調査されていた間取りや、その後の政府の対応を受けて、政府が出す統計データへの信頼度はどうなりましたか。上がりましたが、下がりましたが、それとも、変わりませんか。

1. あがった (3%)
2. 下がった (48%)
3. 変わらない (44%)
4. その他・答えない (5%)

出典: 朝日新聞世論調査 (2019年1月19,20日実施)
を調査票形式に修正

答えやすさとのトレードオフ

- キャリーオーバー効果は関連する質問をばらばらに配置すれば、抑えることができる。
- しかし、関連する質問がまとまって配置されていたほうが、回答者にとっては答えやすい。
- キャリーオーバー効果を意識しすぎるのも良くない

誘導ではないけれど...

- 概して回答者は肯定的な回答をしがちである (黙従傾向, yes-tendency)
- 調査票への記入は筆記テストの解答と同じように感じられ、回答者は「正解」を選ぼうとしてしまうことがある
- 回答者は記憶違いやウソの回答をすることがある

とにかく○をつけて欲しい!! (多すぎる選択肢)

(全員の方向)
問5 あなたは、今後世田谷区が積極的に取り組む事業として、どれが必要だと思いますか。(○は3つまで)

《健康・福祉》		《暮らし・コミュニティ》	
1 健康づくりの推進	16.1	12 地域コミュニティの促進	9.2
2 見守り巡視や地域支えあい等の推進など		13 防災・地域安全の対策	33.7
3 区民・事業者との協働による地域づくり	16.1	14 消費者の支援	7.6
4 高齢者福祉の充実	33.2	15 多様性の尊重 (人権尊重・男女共同)	4.2
5 障害者福祉の充実	7.8	16 文化・芸術の推進	8.2
6 生活困窮者への支援	6.6	17 生涯スポーツの推進	5.9
《子ども若者・教育》		18 清掃・資源リサイクルの推進	8.3
6 若者が力を発揮する地域づくり	11.9	19 産業振興・雇用促進	3.7
7 生涯学習の充実	6.5	20 《都市づくり》	
8 ICT (情報通信技術) の推進	4.0	21 住み続けたいまちづくり	34.6
9 子どもが育つ環境づくり	27.8	22 公園・緑地の整備	12.7
10 質の高い学校教育の推進	13.0	23 自然環境の保護	13.6
11 虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援	11.8		

答えようがない質問

- あてはまる選択肢がない
 - 選択肢は網羅的かつ相互排他的でなければならない
 - 「その他」という選択肢も活用する
- 1つの質問文に2つ以上の論点が含まれていると、答えられない人が出てくる (ダブルバーレル質問)

問 あなたは近所に住む外国人が増えたり、あなたの職場で働く外国人が増えることに賛成ですか。それとも反対ですか。

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対

一方のみに賛成(一方のみに反対)の人は答えようがない

ダブルバーレル質問が許される場合

問 あなたは男性が家事や育児に参加することに賛成ですか。反対ですか。

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対

厳密には2つの論点が含まれるが、分けて聞くことにさほど意味がない

択一、複数回答・個数制限、自由回答

- 基本的に選択肢は択一式がよい
- 複数回答・個数制限はデータ分析が困難
 - 単純集計のことしか考えていない人にとっては便利だが、それ以上の分析は難しい
- 自由回答は結局アフターコードが必要になるので、できるかぎり選択肢をあらかじめ設定 (プリコード) したほうがよい

択一回答は誘導でも強制でもない

- コーディングは、あらかじめ理論的に設定されたカテゴリにもとづく
 - 選択肢は相互排他的かつ網羅的につくられるが、それは理論的にカテゴリが設定されるからこそ可能である。
- したがって、プリコードとアフターコードは、同じ作業を調査前におこなうか調査後におこなうかの違いでしかない
 - 探索的な調査の場合は、この限りではない

参考文献

- 岩井紀子・保田時男, 2007『調査データ分析の基礎: JGSSデータとオンライン集計の活用』有斐閣. 特に「第6章 グラフ」
- 谷岡一郎, 2000『「社会調査」のウソ: リサーチ・リテラシーのすすめ』文春新書.

2019年2月26日

社会調査ゼミ

1

質的調査の方法

2

主な質的調査の手法

- 聞き取り調査
- 参与観察、観察（非参与観察）
- ドキュメント分析
- ビジュアル調査法

3

事例研究の目的

- 事例の詳細な記述（description）
 - － 仮説の構築
- 事例間の比較による仮説検証
 - － 因果関係の推論

4

事例の詳細な記述

- 事例の詳細な記述とは、複雑な現実の単純化であり、収集されたデータの要約である
- 現実の世界の複雑さと分厚い記述の複雑さとの相違は、分厚い記述の複雑さと抽象的な計量・数理研究の持つ複雑さとの間の相違よりも、はるかに大きい（King, Keohane and Verba 1994=2004: 51）

※以下では、上の文献から引用する際の文献注をKKVと略す

5

記述のルール

- 要約は、記述し説明しようとする現象に焦点をあてたものでなければならない（KKV:65）
- 要約は利用しやすいように情報を単純化したものでなければならない（KKV:65）

6

事例研究による仮説の構築

- 事例の記述をすることで、対象とする社会現象に含まれる諸要因を「体系的な要素」と「非体系的な要素」に区別できる（KKV: 67）
- 体系的な要素の間に因果関係を想定できれば、それが仮説となる

7

仮説の構築≠仮説の検証

- 事例研究から仮説を構築した場合、その仮説は他の事例によって検証されなければならない
 - － あたかも調査の当初から仮説をもっていたと見せかけてはいけない
- 検証されるに値する仮説の提出は、事例研究の重要な貢献のひとつである（玉野 2008）

8

仮説検証のための事例選択

- 事例研究による仮説検証の困難は、独立変数の値の割り当てを研究者が操作できない点にある
- 事例研究では、調査対象をランダムに選択することは得策ではない
 - －事例は調査者が戦略的に選ぶ

9

仮説検証のための事例選択の条件

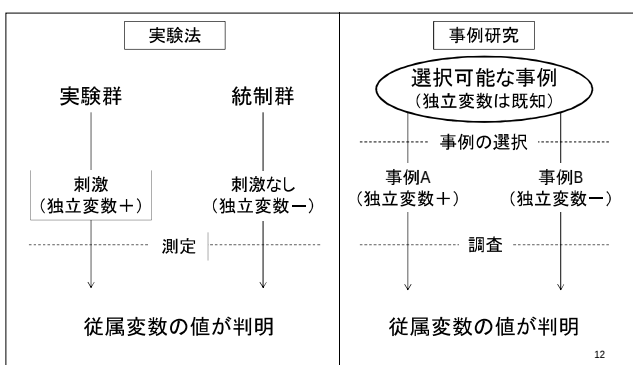
- 研究の最初の段階では、結果は不確実でなければならないというのが最低限の条件であり、そうでない研究からは[因果関係について]何も知ることができない(KKV: 171)
- 理論や仮説に合致するような(あるいは合致しないような)事例を意識的に選んではいけない
 - －以下、事例選択についてはKKV(168-79ページ)に基づく

10

独立変数に基づく事例選択

- 従属変数の値を考慮せずに、独立変数の値が異なるような複数の事例を選ぶ
 - －論理的には理想的な方法
 - －実験法に近い
- 調査して初めて従属変数の値が判明するようにする
 - －ただし、実際の研究では従属変数の散らばりに関心を持って調査を始める場合が多い

11

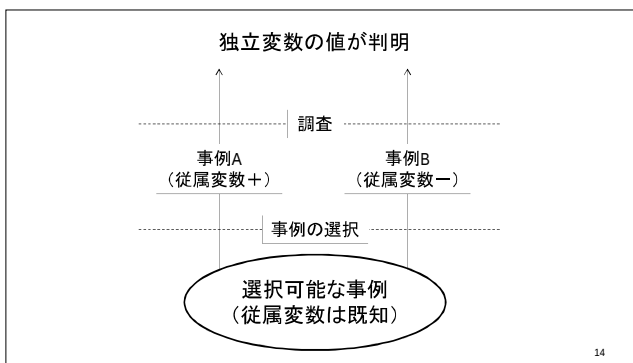


12

従属変数に基づく選択

- 独立変数の値を考慮せずに、従属変数の値が異なるような複数の事例を選ぶ
- 従属変数が異なる事例を選べば、独立変数の値が異なる可能性も高いため、仮説検証に役立つ(あるいは、仮説を精緻化できる)

13



14

独立変数を一定にした事例選択

従属変数を一定にした事例選択

- －試論的な仮説の提示に役立つかもしれない
- －先行研究に十分な情報があれば、仮説検証に役立つかもしれない

独立変数・従属変数を両方考慮した事例選択

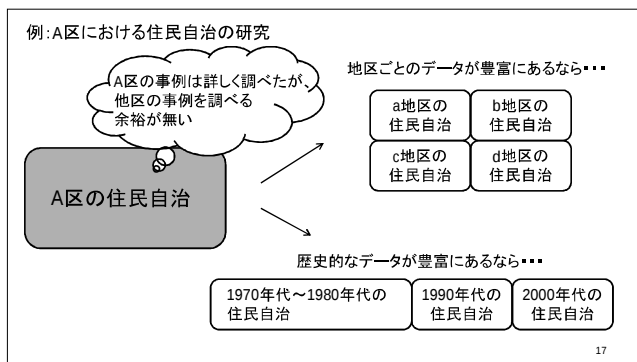
- －基本的には避けたほうがよい

15

事例を増やす方法

- やみくもに事例を増やすことは無駄であるが、比較研究のために事例を増やさなければならない時もある。
 1. 新しい事例を調べる
 2. 既に調べている事例を分割する
 - －観察の単位を分割することで、事例を増やすことができる

16



質的調査の実際

- 聞き取り調査は、もっともよく用いられる質的調査の手法である。
- 以下では、聞き取り調査について説明する。

18

聞き取りとは

- 聞き取りは尋問ではない
- 聞き取りと単なる会話は異なる
 - － 聞き取りは「誘導された会話」である
 - － 話題の数と話題の転換を調査者がコントロールするのが理想的である

19

誘導された会話 (guided conversation)

- 主な話題の数を制限できれば、話題から話題へと会話の流れを維持するのは簡単になる。話題の転換はなめらかに、筋道に沿って行う。(中略) 転換が唐突であれば、調査者が回答者に論議を押しつけ、回答者の話す意志を尊重していないように聞こえる (Rubin and Rubin 1995: 123, cited in Babbie 2001=2005: 98)

20

聞くという姿勢を忘れない

- 調査者が聞き取りをコントロールしすぎてはいけない
 - － 話すことよりも聞くことが重要
- 調査者が想定していなかった話題に重要な内容が含まれているかもしれない

21

聞き取り調査の全体プロセス

1. テーマ設定：聞き取りの目的を明確化する
2. 調査設計：調査プロセスを設定する
3. 聞き取り：実際に聞き取りを行う
4. 文字起こし：インタビューを文章化する
5. 分析：集めたデータを研究目的との関連で考察する
6. 検証：集めたデータの信頼性・妥当性を検討する
7. 報告：研究成果を報告する

22

聞き取り調査の類型①

- フォーマル・インタビュー
 - － 正式に依頼して、聞き取りの場を設定しておこなう
 - インフォーマル・インタビュー
 - － 特に正式な依頼をせず、日常の中で聞き取りをおこなう
- 同じ質問をしても回答は異なってくる

23

聞き取り調査の類型②

- 半構造化インタビュー
 - － 調査項目はあらかじめ決めておく。質問の仕方や順序は対象者によって変えてよい。
 - － ある程度たくさんの人に聞き取りをし、比較をする際に適している。
- 非構造化インタビュー
 - － 調査の趣旨やテーマは伝えるが、基本的に対象者に自由に話してもらう。
 - － 調査の初期段階の聞き取りや有識者への聞き取りに適している。

24

聞き取り調査の類型③

- グループ・インタビュー
 - － 複数の対象者を集めて聞き取りをする
 - － 対象者同士の相互作用が生じるため、個々に聞き取りする場合とは得られるデータが異なる
 - － 聞き取りのテーマや対象者の性格によっては、グループ・インタビューだと十分なデータが得られないこともある

25

聞き取り調査の進め方

- 観察の単位によって進め方は異なる
 - － 個々人のライフヒストリーを調べるのか、地域社会を調べるのか、出来事を調べるのか、...
- 最初に誰に話を聞くかが重要

26

全体像から個々のテーマへ

- まずは全体像を話せる人に聞き取りをする
 - － 地域社会調査ならば、自治体職員、町会・自治会の会長や役員、地域の有力者・リーダー、有識者（研究者など）がまずは対象者となる
- 全体像を把握してから、個々のテーマに詳しい人へと聞き取りを進める

27

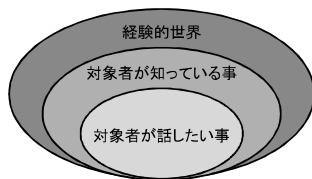
聞き取りを成功させるには①

- 対象者は調査者によって話す内容を変えるので、どのように自己呈示するかが非常に重要
 - － 最初の一言ですべてが決まる
- 対象者は調査者のレベルに合わせた話をする
 - － 事前学習が欠かせない
 - － 何も知らない状態で聞き取りすると、わざわざ聞き取りするまでもない内容しか話してもらえないかもしれない

28

聞き取りを成功させるには②

- 対象者は話したいことしか話さない
 - － 無理やり聞き出そうとしても意味は無い



29

聞き取りを成功させるには③

- 対象者の話したいことをすべて話してもらえたら聞き取りは成功である
 - － 相手の話を遮らないようにする
 - － 普段より大きく相槌を打つ等して、相手の話に興味を持って聞いていることを示す
- どうしても聞かなければならない点は、十分話してもらってから、最後に聞く

30

聞き取りデータの扱い

- 聞き取りデータは、それ自体で完結したものとして扱うこともあれば、他のデータと関連付けたり照合されたりすることもある
- 聞き取りデータは結局のところ主観的解釈であり、だからこそ価値がある
 - － たとえば、主観的解釈と客観的証拠との間のズレ、あるいは主観的解釈の間のズレがあるとすれば、それが生じる説得力のある理由を探求することには意義がある (e.g. Merton 1949=1961)

31

データに埋もれないために

- 聞き取りを一回するだけで膨大なデータが手に入ってしまう
- 手当たり次第に聞き取りをしてからデータを整理しようとすると、データに埋もれてしまう
 - － 研究成果がまとまらない原因のほとんどは、データの不足ではなく、データの整理や取捨選択ができていないことによる。
- 1人に聞き取りをするごとにデータを整理し、研究目的にとってそのデータが何を意味するか考察すること！

32

参考文献

- Babbie, E., 2001, *The Practice of Social Research 9th ed.*, Wadsworth.
(＝渡辺聰子監訳, 2005, 『社会調査法2 実施と分析編』培風館.)
- 原純輔・海野道郎, 2004, 『社会調査演習 第2版』東京大学出版会.
- King, G., R.O. Keohane and S. Verba, 1994, *Designing Social Inquiry: Scientific Inference in Qualitative Research*, Princeton University Press.
(＝真淵勝監訳, 2004, 『社会科学のリサーチ・デザイン: 定性的研究における科学的推論』勁草書房.)
- Merton, Robert K., 1949, *Social Theory and Social Structure*, Free Press of Glencoe. (＝森東吾ほか訳, 1961, 『社会理論と社会構造』みすず書房.)
- 玉野和志, 2008, 『実践社会調査入門: 今すぐ調査を始めた人へ』世界思想社.

33

社会調査ゼミ第6回
別紙

いかに話を聞きだすか ―誘導された会話 (guided conversation) の例―

【大学生が専攻を選ぶ理由】

あなた：専攻はどちらですか。

回答者：医学です。

あなた：そうですか。なぜ医学を選んだのですか。

回答者：父方の祖父が医者として、地域医療に貢献したということで、日本医師会から功労賞をもらったんです。

あなた：それはすごいですね。

回答者：ええ、地元の新聞にも載りました。

あなた：お祖父さんにはあなたが医学部に進むという話はしたんですか。

回答者：はい、父方の家系が医者の一族で、経営する病院を代々継いでいるんです。私の父は反抗して普通のサラリーマンになりましたが…。今は、おじがその病院を継いでいます。

あなた：そうですか。将来はあなたもその病院で働くつもりで医学部に入ったんですか。それとも、何か別の道を考えているんですか。

回答者：私はどちらかというと臨床よりも基礎研究に関心がありまして、将来は……
(出典：Babbie 2001＝2005: 97 を改変)

【子どもの頃の暮らしむき】

あなた：子どもの頃の暮らしむきはどうでしたか。

回答者：暮らしむき？

あなた：暮らしむきが良いとか、悪いとか、言うじゃないですか。

回答者：それは大変でしたよ。きょうだいが多かったから。今では考えられないけど、8人きょうだいでしたから、子どもが多いから、生活は大変でしたよね。

あなた：でも、山を持っていたというお話でしたよね。周りの農家と比べてどうでしたか。

回答者：周りにくらべたら、生活は良かっただろうね。

あなた：たとえば、村の中で上中下に分けるとしたら、どこに入りますか。

回答者：村の中では上の部類だと思いますよ。

(山典：原・南野 2004: 153-4 を改変)